

## 化学部

化学部の主な業務は、一般廃棄物、産業廃棄物、汚染土壌等に関する試験検査及び調査研究である。平成30年度に実施した試験検査等は562検体、計5,169項目で、その内訳は表1のとおりである。

### 1 試験検査実施状況

廃棄物の処理及び清掃に関する法律、栃木県廃棄物処理に関する指導要綱等に基づく検査等を実施した。

#### 1.1 一般廃棄物関係

一般廃棄物最終処分場の浸出水、周辺井戸水等について、8検体、計248項目の検査を実施した。

#### 1.2 産業廃棄物関係

産業廃棄物最終処分場等の浸透水、周辺井戸水、環境水及び廃棄物等について、551検体、計4,918項目の検査等を実施した。併せて精度管理も行った。この精度管理には、環境省の環境測定分析統一精度管理調査分を含み、分析の精度の確認、向上及び信頼性の確保を図るこ

とを目的に実施している。

#### 1.3 その他

放射能関係について、3検体、計3項目の測定を行った。

### 2 調査研究

#### 2.1 堆肥化施設の臭気の発生抑制に関する調査

廃棄物処理施設の堆肥化施設について、発酵の過程で生じる臭気の発生を抑制する要因や条件を調査するため、平成27年度から4ヵ年計画で実施してきた。これまでの結果をとりまとめ、「IV 調査研究」に記載した。

#### 3 その他

県の試験研究機関等を対象に、有害物質含有廃液の搬入等に関する説明会を2回開催し、廃液の管理や廃棄物データシートの作成方法等について説明した。

表1 平成30年度試験検査実施状況

区 分	行政検査		調査研究		精度管理		合 計	
	検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数
一般廃棄物関係								
処分場浸出水、排水	2	74					2	74
処分場周辺地下水、井水	6	174					6	174
産業廃棄物関係								
処分場浸透水、排水	36	318					36	318
処分場周辺地下水、井水	57	1,302			99	345	156	1,647
河川水、環境水	28	598					28	598
廃棄物等	3	9	324	2,338	4	8	331	2,355
事故関係								
土砂関係								
放射能関係	3	3					3	3
廃液排出								
合計	135	2,478	324	2,338	103	353	562	5,169